読者のひろば

初心忘るべからず

私は職場が好きです。その日もやるべき仕事があり、職場内をウロウロしながら作業をしていました。そこへ30代くらいのご夫婦がいらっしゃって、お買い上げの商品を持って来られました。作業を止めて、レジ対応をし、お見送りをする際に「お仕事の手を止めさせて段取りを狂わせてしまい、申し訳ありませんでした」とひと言。優しい天女の声を聞いた気がしてとても嬉しくて。逆に自分の接客は？と考えると、恥ずかしくなりました。すてきなお心遣いありがとうございました。

うーさん（58歳）

癒やされました

広報薩摩川内9月通常版の表紙にぐぎ付けになりました。なんてかわいくて良い表情の子どもたち。すぐに2ページ「◎今月の表紙」を読みました。そこにもお兄ちゃんが指をさして仲良く何かを見ている、とても良い感じの写真が。どこのお子さんかな。私の友人に似ている。もしかしてお孫さんかな。など、いろいろ考えながら拝見しました。今もこれからも、意識はせずとも助け合いながら仲良く成長されるんだと確信できます。額縁に入れて部屋に飾り、日々眺めて心を穏やかにしたいところですが、同居している孫の手前、秘密の場所に置いておきます。

テメーラ（65歳）

Uターン

65歳で定年退職し、小学6年生まで住んでいた入来地域に54年の時を経て大阪から帰ってきました。Uターンを決意させてくれたのは、小学校時代の同級生の多くが地元に残っており、半世紀以上を経てもなお、会えば小学校の時のまま「〇〇ちゃん」と呼び、昔と変わらぬ友情を示してくれたからに他なりません。

地元に同級生が多く残っていることに少し驚きましたが、この地が彼らを優しく包み込んでいるからであり、彼らもまた、この地を愛しているからであろうと感じています。これからも彼らとともにこの地で時を過ごしてまいります。

しもちゃん（67歳）

たくましく、元気に

お世話になっている先生方、いつもありがとうございます。

ちちうえ（47歳）

投稿・問合先／本庁秘書広報課企画総務・広聴広報G（内線4122）
koho@city.satsumasendai.lg.jp

今月のプレゼント

掲載店募集中！！ 秘書広報課までご連絡ください。

【締切】11月30日（木）消印有効

▲鮭ねぎマヨおむすびと高菜めんたい大葉マヨおむすび

▲みそ汁、肉じゃがコロッケ、タコ唐揚げ

上記締め切りまでにお便りを頂いた方の中から抽選で、ランチで使える**「福むすび」のお食事券（800円）を２人**にプレゼント。大きくて食べ応え抜群のおむすびを食べることができるお店。さまざまな種類の具だくさんなおむすびがあります。温かいみそ汁と一緒に食べるとほっこり。夜は居酒屋として営業しており、おむすび以外にもさまざまなメニューがあります。また、昼夜ともテイクアウトを行っています。実家に帰ってきたような料理をお楽しみください。

福むすび
住 鳥追町1-1
営 昼 10:00～14:00
夜 16:00～22:00
（ラストオーダー 21:15）
休 日曜日、不定休
(41)3513

▲Instagram

■発　行

薩摩川内市
〒895-8650　鹿児島県薩摩川内市神田町3-22
0996（23）5111　FAX 0996（20）5570
0996（22）8115（直通）
※音声案内後に内線番号を押してください。
閉庁日および時間外　0996（23）5115

■編　集

本庁未来政策部秘書広報課
koho@city.satsumasendai.lg.jp

■各支所など

樋脇支所	〒895-1292　樋脇町塔之原1173 0996（37）3111　FAX 0996（37）2252
入来支所	〒895-1492　入来町浦之名33 0996（44）3111　FAX 0996（44）3117
東郷支所	〒895-1106　東郷町斧渕362 0996（42）1111　FAX 0996（42）0767
祁答院支所	〒895-1595　祁答院町下手67 0996（55）1111　FAX 0996（55）1021
甑島振興局	〒896-1201　上甑町中甑481-1 09969（2）0001　FAX 09969（2）1490
里市民サービスセンター	〒896-1192　里町里1922 09969（3）2311　FAX 09969（3）2912
鹿島市民サービスセンター	〒896-1392　鹿島町藺牟田1457-10 09969（4）2211　FAX 09969（4）2672
下甑支所	〒896-1696　下甑町手打819 09969（7）0311　FAX 09969（7）0753
消防局	〒895-0072　中郷町5031-1 0996（22）0119　FAX 0996（20）3430
水道局	〒895-0074　原田町22-10 0996（20）8500　FAX 0996（20）8512

■広報電話

0120（894）256（やくしょにコール）
※夜間救急当番医や水道サービスセンターの情報が電話で確認できます。

担当者の声　STAFF'S VOICE

4年ぶりに開催された川内大綱引。私も綱練りに参加しました。

参加者の皆さんをはじめ、綱練り前から準備をされていた実行委員会の皆さんの生き生きとした表情から、心待ちにしていたこの日への熱い思いを感じ、私も縄を握る手に力が入りました。

掛け声のタイミングに上手く合わせられなかったり、使用する縄がちぎれたりと苦戦しましたが、掛け声に合わせての綱練りや、シンコを使って１本の大綱を練り上げる様子は大綱引に引けを取らない迫力を感じ、運び出した後のワサ作り、化粧など熟練の技術は見ているだけで楽しく、とても充実した一日となりました。

参加して改めて随所に魅力を感じました。皆さんも来年は綱練りの様子からお楽しみいただければと思います。

撮影された写真もぜひお寄せください。

参加された皆さん、本当にお疲れ様でした。　（矢崎）

◎今月の表紙

今月は、特集で４年ぶりに開催された「川内大綱引」を取り上げたことから、表紙は、川内大綱引が始まった瞬間の写真にしました。

本番の写真撮影を行った際には、熱気を直接肌で感じられ、上方・下方の一番太鼓を務めた方へ取材を行った際には、川内大綱引に対する熱い思いが心に響きました。

インタビューの中で、「川内大綱引はさまざまな人の協力があってこそ開催することができる」という言葉が印象的でした。改めて考えると、大綱のもととなる荒縄（あらなわ）を作るところから始まり、本番に向けてのスケジュールを管理し、さまざまな団体が協力しながら綱を練り、本番が始まり、そして使用された綱は玄関に飾られたり、田んぼに戻したりなど余すことなく使われ、その流れには、数え切れないほどの人が関わっているのだなと。

コロナ禍を乗り越えたからこそ地域や人のつながり、温かさをより強く実感できた令和５年９月22日（金）だったのではないでしょうか。

川内大綱引に限らず、各地域で継承されている伝統を大切にしていきたいですね。

▲切れた引き綱を手にする子どもたち

＜目　次＞

P２　４年ぶりの熱戦　川内大綱引
P６　防災トピックス／11月は「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」
P７　ストップ！滞納
P８　11月８日はいい野菜の日～高血圧対策は、減塩と排塩で～
P９　深発見！さつませんだい歴史文化遺産
P10　人のとなりに
P11　企業のチカラ
P12　まちの話題
P14　行こうよ！図書館へ
P15　情報掲示板
P18　うぶごえ・おくやみ
P20　読者のひろば

広報紙アプリ「マチイロ」

スマートフォンやタブレットで「広報薩摩川内」や「薩摩川内市議会だより」を読むことができます！ダウンロードしてぜひご利用ください。

◀ Android 版　◀ iOS 版

問合先／本庁未来政策部秘書広報課（内線 4122）